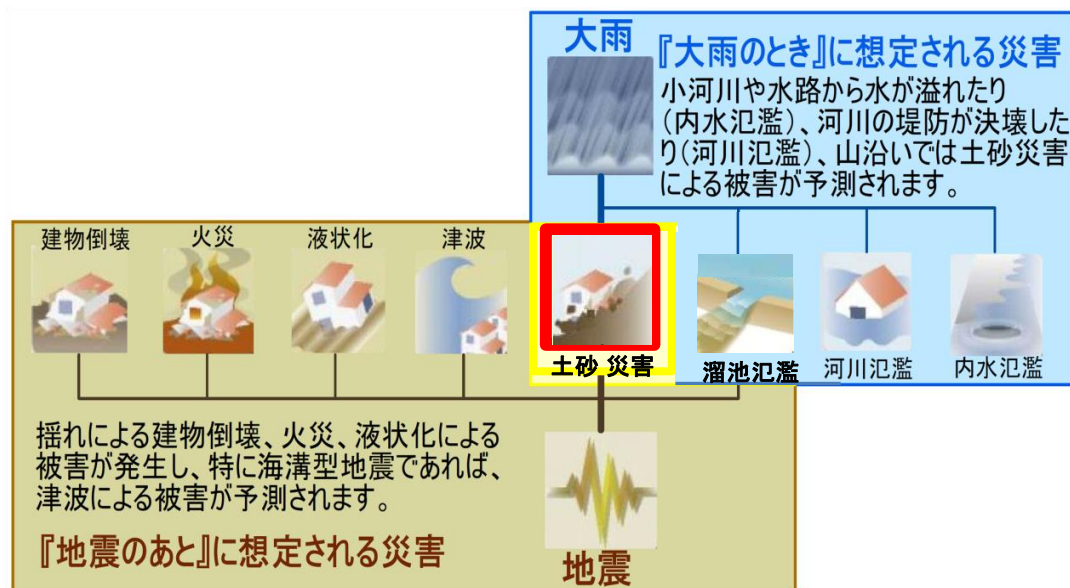


◆ 災害の状況に応じた避難を考えましょう。



◆ 土砂災害の種類と前兆現象

<p><b>がけ崩れ</b>              がけ崩れは、地中にしみ込んだ水分で斜面が突然崩れ落ちます。瞬時に崩れ落ちるため、避難が遅れがちになります。</p>	<p><b>土石流</b>              土石流は、谷筋で起きます。大量の土・石・砂等が集中豪雨など大量の水と混じり合って流れてくるので、速度が速く大きな破壊力を持っています。</p>	<p><b>地すべり</b>              地すべりは、粘土などの滑りやすい地盤が一度に広い範囲で動き出します。速度はゆるやかですが、発生すると広い範囲で道路や建物に被害をもたらします。</p>
<p><b>前兆現象</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>□ 崖に亀裂が入る。</li> <li>□ 崖から水が湧き出る。</li> <li>□ 崖から小石がパラパラ落ちる。</li> </ul>	<p><b>前兆現象</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>□ 山鳴りがする。</li> <li>□ 降雨が続いているのに川の水位が下がる。</li> <li>□ 川の水が急に濁ったり、流木が混ざり始める。</li> <li>□ 腐った土の臭いがする。</li> </ul>	<p><b>前兆現象</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>□ 斜面から水が噴き出す。</li> <li>□ 斜面にひび割れができる。</li> <li>□ 普段はきれいな井戸水が濁る。</li> </ul>

避難時の心得

<p><b>安全な避難路の確認</b></p> <p>避難場所までの経路(避難路)は、あらかじめ自分たちで決めておき、安全に通行できるかを確認しておきましょう。</p>	<p><b>非常持ち出し品の事前準備</b></p> <p>避難するときの荷物は必要最低限とし、事前に準備してすぐに持ち出せるようにしておきましょう。</p>
<p><b>正確な情報収集と自主的避難</b></p> <p>ラジオ・テレビで最新の気象情報や災害情報、避難情報に注意し、危険を感じたら自主的に避難しましょう。</p>	<p><b>避難の呼びかけに注意し速やかな避難</b></p> <p>役場や消防団からの呼びかけに注意し、避難勧告が出された場合は、危険が迫っているので、警察などの指示に従い速やかに避難しましょう。</p>
<p><b>お年寄りなどの避難に協力</b></p> <p>お年寄りや子供、病気の人などは、早めの避難が必要です。近所のお年寄りなどの避難に協力しましょう。</p>	<p><b>動きやすい格好、2人以上での避難</b></p> <p>避難するときは、動きやすい格好で、2人以上での避難を心がけましょう。</p>

◆ 土砂災害に備えて

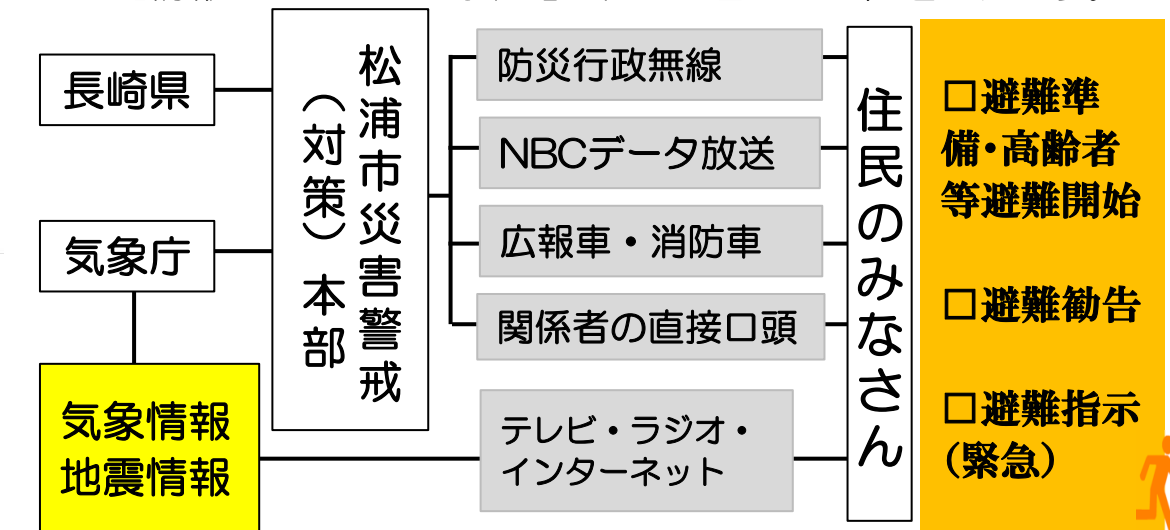
- 平常時から、土砂災害警戒区域や避難所を確認しておきましょう!
- 雨が強くなったら、積極的に雨量情報、予報、警報等を確認しておきましょう!

- 【検索】
- 気象庁ホームページ <http://www.ima.go.jp/>
  - 長崎県総合防災ポータル <http://www.pref.nagasaki/sb/>
  - 長崎県河川砂防情報システム <http://www.kasen-sbo.pref.nagasaki.jp/>
  - 松浦市ホームページ <http://www.city-matsuura.jp/>

◆ 避難情報には、緊急度に応じて3つの種類があります。

避難情報の種類	住民の皆さんの行動
警戒レベル3 避難準備・高齢者等避難開始	<ul style="list-style-type: none"> <li>□ 高齢者等避難</li> <li>・ ご高齢の方、障害のある方、乳幼児をお連れの方など避難に時間を要する人は避難を開始しましょう。</li> </ul>
警戒レベル4 避難勧告	<ul style="list-style-type: none"> <li>□ 全員避難</li> <li>・ 速やかに避難場所へ避難をしましょう。</li> <li>・ 立退き避難がかえって命に危険を及ぼしかねないと自ら判断する場合には、「近隣の安全な場所」への避難や少しでも命の助かる可能性の高い避難行動として「屋内安全確保」を行う。</li> </ul>
警戒レベル4 避難指示(緊急)	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 災害が発生するおそれが極めて高い状態等になっており、緊急的に避難する。</li> <li>・ 立退き避難がかえって命に危険を及ぼしかねないと自ら判断する場合には、「近隣の安全な場所」への避難や少しでも命の助かる可能性の高い避難行動として「屋内安全確保」を行う。</li> </ul>

◆ 避難情報は下図のような経路で住民の皆さんに伝達されます。



◆ 問い合わせ先

- 土砂災害警戒区域に関すること
  - 長崎県土木部砂防課 電話 095-820-4788
  - 県北振興局砂防防災課 電話 0956-22-2441
- 災害通報や避難所の開設などに関すること
  - 松浦市役所 電話 0956-72-1111
  - 福島支所 電話 0955-47-3111
  - 鷹島支所 電話 0955-48-3111
- 電気の復旧に関すること
  - 九州電力送配電(株)平戸配電事業所 電話 0120-986-939
  - 九州電力送配電(株)唐津配電事業所 電話 0120-986-935
- 水道の復旧に関すること
  - 松浦市役所 電話 0956-72-1111

◆ 災害用伝言ダイヤルの使い方 (※171は「伝言ダイヤルを忘れてイナイ?」と覚えておきましょう。)

**ご利用方法**

災害用伝言ダイヤルとは、災害発生時に安否情報などが声で確認できる「声の伝言板」です。全国の一般電話、公衆電話、携帯電話から利用することができます。

<p><b>伝言の録音方法</b></p> <p>1 7 1 にダイヤル</p> <p>ガイダンスが流れます</p> <p>録音の場合 1</p> <p>ガイダンスが流れます</p> <p>被災地の方はご自宅の電話番号を 被災地以外の方は被災地の電話番号を ▼市外局番からダイヤルしてください (0000) 00 0000</p>	<p><b>伝言の再生方法</b></p> <p>1 7 1 にダイヤル</p> <p>ガイダンスが流れます</p> <p>再生の場合 2</p> <p>ガイダンスが流れます</p> <p>被災地の方はご自宅の電話番号を 被災地以外の方は被災地の電話番号を ▼市外局番からダイヤルしてください (0000) 00 0000</p>
---	---